

佐渡税務署長賞

誰かの笑顔のために

佐渡市立新穂中学校 3年 松本 結南

「税なんてなくてもいいのに！」

私は今まで「税」に対して、マイナスの方にしか捉えることができなかった。しかし、小学生のときに見たある動画を思い出したことをきっかけに、様々な場面で「税」に支えられていることに気が付いた。

私は小学生のとき、授業で「もし税金がなかったら」という内容の動画を見た。税金の使い道も知らなかった私にはその動画はとても衝撃で今でも鮮明に覚えている。税金がなくなると、家で火事が起きても多額のお金を払って、消防署や消防団の方々に火を消してもらわなければならない。ごみ収集もされなくなり家の周りにはごみ袋が溢れかえる。信号機がなくなり、事故があちこちで起こる。当たり前だと思っていた日常が当たり前ではなく、税金によって支えられていたことを知った。

「税」について調べていると他にも様々な場面で私たちを支えていることに気が付いた。

私が注目したのは医療費だ。私は幼いころあまり体が丈夫ではなく通院や入院を何度も繰り返していた。しかし、どんな検査をしてもお会計で払うお金はいつも530円だった。なぜ、いつも530円しか払わなくてもいいのかとても不思議だったが、それは「税」のおかげだと知った。あの頃の私が通院や入院を繰り返し、治療できたのは「税」という存在があったからだった。今ではアレルギーは減り、とても元気に過ごせている。私は「税」に助けられた。

今までの私は、「税」を「負担」だとしか考えられなかった。しかし、「税」について調べたことで「税」はあらゆるところで私たちを支え、助けてくれる大切な存在だということに気が付いた。税を納めることで、自分や顔も知らない誰かの役に立つことができる。そう思うと、税を納めることは人の助けとなれるとても良いことだと思う。

私たち子どもには、消費税しか納めることができない。だからこそ、私たち子どもができることは、その消費税を納めることに対してマイナスな捉え方をしないことが大切だと思う。

私は将来、しっかり税を納める大人になりたい。幼いころ誰かが納めてくれた、「税」に助けられたように。私も「税」を納めることで恩返しをしていきたい。

自分が納めた税は、巡り巡って自分や誰かの笑顔のために役立つのだから。